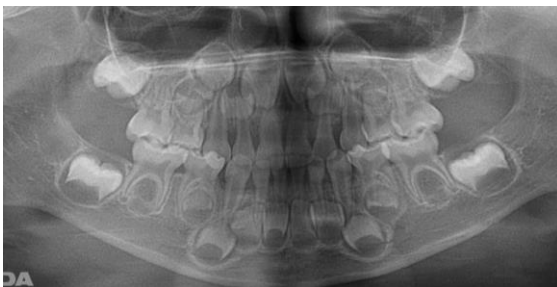


症例 1-1

乳歯列反対咬合

初診の頃から私が診療に関与した症例

初診時には、
パノラマとセファロ
を撮影する。
5と7の萌出が確認
できないので、再度
9y3mに撮影
(5と7確認できた)。



ROENTGEN CEPHALOMETRIC ANALYSIS
(See Table 3.2) Japan Dental Society 1977

Case No.	Sex	Age	Height	Weight	Stature	Head length	Head width	Head height	Head circumference	Head area	Head volume	Head mass	Head density	Head color	Head texture	Head shape	Head position	Head movement	Head function	Head health	Head prognosis
1	M	3.6	85.0	12.0	85.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0

3y6m

初診

反対
EDCBA | ABCDE
EDCBA | ABCDE



3y7m

プレートを入
れる

下顎斜面付プレートで
側方拡大、E/E 遠心移動する
Chin cap 併用

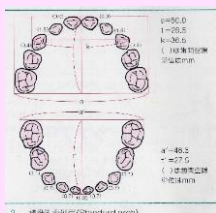


3y2m

Chin cap セット

空隙が
できた

標準
乳歯列弓



正常被蓋になった
上下側方拡大、
E/E 遠心移動中



1 舌側弾線で捻転治す 5y11m

生えてきた
永久切歯の
位置調節



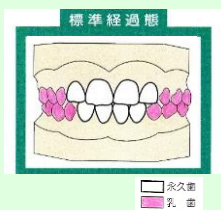
1 | 1 アクロススプリングで閉鎖



2 | 1 | 2 揃った 7y2m

4 切歯が
C-C 間に並ぶ

標準
経過態



標準経過態



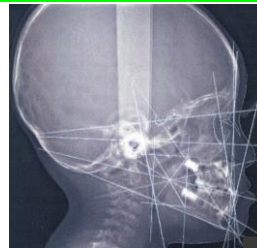
10y8m

2 | 1 | 2 1 | 2 圧下ポイントで圧下
〔症例 2-1
8y4m参照〕

令和4年4月現在 継続管理中

初診の頃から私が診療に関与した症例

初診



HORIENSTEN CRYSTALLOGRAPHIC ANALYSIS

(EA Sample 12) *Lower Sand Layer 14''*

Case No.	Name	Wt. %	Si	Al	Fe	Mg	Ca	Na	K	Other
1	Feldspar	48.5	0.12	0.08	0.05	0.02	0.01	0.01	0.01	
2	Quartz	18.4	0.14	0.08	0.05	0.02	0.01	0.01	0.01	
3	A-B micas	5.5	0.13	0.08	0.05	0.02	0.01	0.01	0.01	
4	Illite-muscovite	20.0	0.14	0.08	0.05	0.02	0.01	0.01	0.01	
5	Trace	6.5	0.15	0.08	0.05	0.02	0.01	0.01	0.01	
6	Unsorted sand	11.0	0.12	0.08	0.05	0.02	0.01	0.01	0.01	
7	Unsorted	1.0	0.12	0.08	0.05	0.02	0.01	0.01	0.01	
8	Unsorted in Handbed	89.7	0.13	0.08	0.05	0.02	0.01	0.01	0.01	
9	FM in SS	1.8	0.14	0.08	0.05	0.02	0.01	0.01	0.01	
10	SPF	79.0	0.17	0.08	0.05	0.02	0.01	0.01	0.01	
11	SPF	79.0	0.17	0.08	0.05	0.02	0.01	0.01	0.01	
12	SPF	80.0	0.15	0.08	0.05	0.02	0.01	0.01	0.01	
13	SPF	79.0	0.17	0.08	0.05	0.02	0.01	0.01	0.01	
14	U-50 in PZL sand	94.5	0.11	0.08	0.05	0.02	0.01	0.01	0.01	
15	U-50 in SS sand	67.0	0.11	0.08	0.05	0.02	0.01	0.01	0.01	
16	Gravel mgt	120.0	0.15	0.08	0.05	0.02	0.01	0.01	0.01	
17	OZS	16.0	0.16	0.08	0.05	0.02	0.01	0.01	0.01	
18	Barite (Inclusions)	82.0	0.16	0.08	0.05	0.02	0.01	0.01	0.01	

DEPARTMENT OF HYDROLOGIES

OFFICE OF WATER RESOURCES, TROUSERS DIVISION

EDCBA	ABCDE
EDCBA	ABCDE



3y1m

3y2m

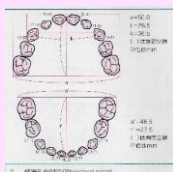
Chin cap セット

下顎斜面付プレートで
側方拡大、 $\overline{EE}$ 遠心移動する
Chin cap 併用



3y3m

標準
乳齒列弓



正常被蓋になった
上下側方拡大、
E/E 遠心移動中

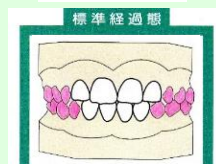
5y4m

1 | 1 アクロススプリングで閉鎖

7y7m

1 歯頸線が下がっているため
歯頸部誘導線に
(舌側歯槽部スペースあかす)

標準
經過態



標準經過態



正中合ってきた
標準経過態に近づいている

8y8m

令和4年4月現在 継続管理中

Group 症例 2-1

乳歯列反対咬合

永久歯列完成頃に私が診療に関与した症例
乳歯列期からの経過は保存記録より抜粋

初診

反対
EDCBA | ABCDE
EDCBA | ABCDE



4y4m



側貌凹型
下唇突出している

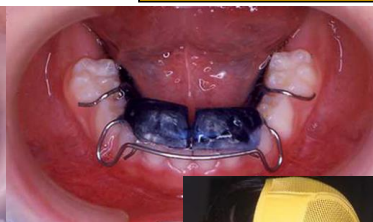
プレートを入れる

下顎斜面付プレートで
側方拡大、E/E 遠心移動する
Chin cap 併用



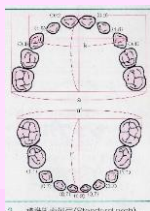
4y5m

Chin cap セット



来院毎、関節雑音
の有無をチェック

空隙が
できた



標準
乳歯列弓

正常被蓋になった
上下側方拡大、
E/E 遠心移動中



5y10m

生えてきた
永久切歯の
位置調節



1 | 1 アクロススプリングで閉鎖



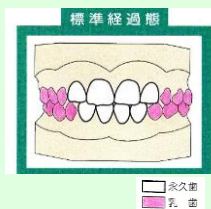
7y8m



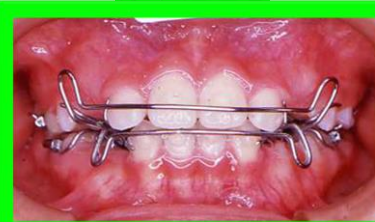
下顎が後退して
側貌がよくなり
つつある

4 切歯が
C-C 間に並ぶ

標準
経過態



標準経過態



21 | 12
21 | 12 圧下ポイントで圧下

2 | 2 圧下強く
10y2m

これから先は
定期診査



14y1m



きれいな側貌を維持している 14y1m

Group 症例2-4 乳歯列反対咬合

永久歯列完成頃に私が診療に関与した症例
乳歯列期からの経過は保存記録より抜粋

初診

反対
EDCBA|ABCDE
EDCBA|ABCDE



5y6m



プレートを入れる

下顎斜面付プレートで
側方拡大、E/E 遠心移動する
Chin cap 併用

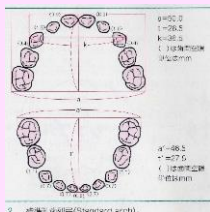


Chin cap セット

5y7m



空隙が
できた



標準
乳歯列弓



正常被蓋になった
上下側方拡大、
E/E 遠心移動中

6y0m



生えてきた
永久切歯の
位置調節

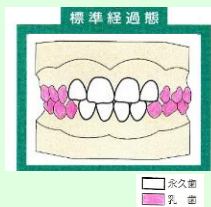


1|1 アクロススプリングで閉鎖
6y5m



標準経過態

4 切歯が
C-C 間に並ぶ



標準
経過態



2|2 アクロススプリングで閉鎖
8y9m



これから先は
定期診査



17y0m